

栃木県眼科医会理事会だより(平成21年度第1回)

日時：平成21年5月20日(水) 午後7時より

場所：宇都宮市医師会館

出席：宮下会長、原(裕)、旭副会長、木村、大久保(彰)、大野、吉沢(徹)、城山、苗加、
福島、落合(憲)、上田、小幡、松島(博)、大沼、井岡、斉藤(春)、高橋(雄)、
斉藤(哲)、堤理事、松島(雄)監事、稲葉(光)、茨木顧問 計23名

欠席：牧野理事、鈴木監事、早津、田口、柏瀬、斉藤(武)、佐藤、妹尾顧問 計8名

[会長挨拶]

本日は学校健診でお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。新理事になられた先生方も、これからよろしくお願ひします。

[総務]

報告：1.平成21年度第1回日眼医定例代議員会、定例総会出席報告(4月4日(土)5日(日)東京プリンスホテル)

原(裕)副会長が出席。定員117名中114名が出席した。三宅会長の挨拶では、改革の三本柱として

1. 有用な情報の構築
2. その情報の収集、伝達、管理
3. 重要な関連団体である日本眼科学会との情報の共有と共同作業が挙げられた。

1. については、眼科医療研究会議で3年間行ってきた「眼科医療に関する社会的貢献の評価」に関する研究が出来上がり、英文専門誌から出版する予定である。また、眼科医療研究会議では今年から「屈折矯正と眼鏡技術者の公的資格化に関連する諸問題」について、眼鏡士問題やCL問題とも絡めて広く検討してゆく予定である。

2. については総務部管理では、昨年度より導入したテレビ電話による会長・副会長会議の実施やインターネットメールによる支部への情報提供によって会務の効率化を推進し、総務部企画では、日眼医ホームページ、日眼医通信などをより一層充実させることとする。

3. については、従来からの日本眼科社会保険会議や日本眼科啓発会議を一層充実させると同時に、その他の重要な問題を定期的に協議する日眼との協議会を設置する。その他、あと1年程で日本眼科医会を公益法人化すべく活動する、またCL問題に関するグランドビューを更に推進していく、等の発言があった。代議員会では、事業計画案のうち、本年度から新設された事項として、高野常任理事より報告があった。まず、総務部管理として、会員の表彰委員会を設置し、会長表彰・会長賞・感謝状の対象者を決定し、総会で表彰する。次に会員管理として、会員資格検討委員会を開催し、会員資格の諸問題について検討し、

保留会員の削減に努める。また、来年は日眼医80周年を迎えるため、記念事業実行委員会を開催し、内容を検討する予定。総務部企画では、眼鏡技術者の資格化活動への対応として、各部と協力して多方面の検討をする、眼科医事紛争対策委員会を開催する、眼科女性医師に関わる諸問題を日眼と共同で検討する。学校保健では、学校保健の知識の普及と現状の把握として、学校におけるコンタクトレンズの実態調査を行う、また、色覚検査事後措置のガイドラインを作成する。勤務医部では、勤務医会員の抱える諸問題の検討として、勤務医委員会を開催し、本会に対する勤務医会員の要望およびそれに対する施策を検討する。また、眼科勤務医の勤務環境小委員会を開催し、勤務医の待遇改善に関して検討する。さらに、全国の勤務医会員が直接に交流し、情報交換する機会を学会(臨眼時のイブニングセミナー)等で設定する。

その他、平成21年度の予算案、会費賦課徴収案が可決承認され、本年度の会費徴収額は前年通り、A会員45,000円、B会員15,000円、C会員7,000円となった。

総会は代議員114、役員25、会員が7、委任状が3,497、合計3643名で成立し、代議員会での議案が承認された。

(詳細は日本の眼科第八十巻第四号を参照)

2. 平成21年度栃眼医総会開催報告(4月12日(日)自治医大)

平成20年度会務報告、会計報告、平成21年度代議員会出席報告、旭副会長より栃木県眼科一次救急診療経過報告が行われた。また、平成21年度事業計画、予算案が原案通り可決された。また本年度からの理事交代の件についても報告された。詳細は会報に掲載。

3. 会員の異動

転出 B 菊池通晴(獨協医大 福島県)

4. 当会副会長 旭眼科内科クリニック 旭英幸先生の奥様 百合子先生ご逝去(3月4日(水))

会員にFAX連絡、当会より香典

5. 平成21年度表彰対象者の推薦届を日眼医に送付

本県から久保田芳雄先生、田島幸男先生の2名を30年以上の会員として推薦した。

協議: 1. 平成21年度第2回日眼医定例代議員会、定例総会出席者と提出議題(6月27日(土)、28日(日)東京プリンスホテル)

原(裕)副会長が出席予定。提出議題は未定。

2. 平成21年度第1回関プロ支部長会議、連絡協議会の出席者と提出議題(6月13日(土)、14日(日)新潟市 万代シルバーホテル)

宮下会長、原(裕)副会長、早津、稲葉(光)顧問が出席予定。提出議題は未定

3. 入会(転入を含む)希望者について

転入: B 佐藤 幸裕 (自治医大) 千葉県より

B 堀 秀行 (NHO栃木病院) 熊本県より

B 本山 祐大 (宇都宮市 原眼科病院) 茨城県より
入会：C 大久保 裕子(自治医大)

[経理]

報告：1. 栃木県アイバンク協力募金箱集計報告

木村理事が報告。39医療機関から合計274,284円の募金が集まり、4月22日に栃木県アイバンクに送金した。領収書はアイバンクからそれぞれの医療機関に送られる。

2. 第57回栃木県眼科集談会収支報告

収入：会費A、B 94名、C 4名で288,000円。

支出：西洋堂 300,000円 会場費120,000円 振込手数料420円

講師御礼100,000円 お車代 30,000円 交通費 15,000円

医局御礼 30,000円 合計 595,420円

差額の307,420円を一般会計から補助。

協議：1. 本年度栃眼医会費等の徴収について

49名の先生は口座振替で6月8日に引き落とされる。それ以外の先生には6月初めに案内を送る予定。同じく総会で報告予定。

[学術]

報告：1. 第19回下野眼科談話会の開催の件(獨協医大、万有製薬共催、当会后援、3月27日(金)小山グランドホテル)

53名が出席し盛会のうちに終了。

2. 第57回栃木県眼科集談会開催の件(4月12日(日)自治医大)

97名が出席、盛会のうちに終了。

協議：1. 第41回栃眼医研究会の開催の件(6月19日(金)千寿製薬と共催)

宇都宮グランドホテルで19:00から開催。

講演1：「糖尿病黄斑浮腫の診断と治療」

自治医科大学糖尿病センター 佐藤幸裕教授

講演2：「前眼部疾患の臨床と注意点」

日本大学医学部 澤充教授

2. 第32回獨協医大眼科栃眼医合同講演会の件(7月24日(金) 獨協医大)

講師および演題：山梨大学医学部 飯島裕幸教授と富山大学医学部 林篤志教授を予定。テーマは黄斑疾患。

3. 第58回栃木県眼科集談会の日程と特別講演講師、演題について

11月6日(金)宇都宮医師会館で開催。講師は未定

4. 第17回栃木眼科セミナー(自治医大、興和創薬共催、当会后援、10月2日(金))の件

講演1：「CL関連感染性角膜炎」 愛媛大学医学部 宇野敏彦臨床教授

講演2：「大人の斜視手術について」 自治医科大学 牧野伸二講師

5. 小児眼科講演会開催の件

大久保理事より提案。田淵昭雄前教授(川崎医科大)から小児眼科に関する講演会開催の依頼があったとの事。協議の結果、今年は忘年会に併せ開催する方向で検討を進める。日時は11月27日(金)～29日(日)を予定。

[医療安全対策及び福祉]

報告：1. 第31回眼科コメディカル試験(5月16日(土)帝京大学)

予定どおり実施された

協議：1. 「医療安全の確保」・「院内感染対策」についての職員研修会開催について
齊藤(春)担当理事が報告。4月15日(水)に齊藤(春)、齊藤(哲)、落合、堤、井岡理事が集まって検討を行った。眼科医会単独で開催するのが妥当かどうか、各県の事情はどうか等、更に情報を集め検討していく予定。現状では12月6日(日)のコンタクト管理者研修会に併せて開催する事を検討しており、今後行政代表とも連絡を取りながら検討を進めていく。

2. 第70回栃眼医親睦ゴルフコンペについて(5月24日(日)宮の森カントリー倶楽部)

現在16名が参加し開催予定。

[保険]

報告：1. 健保研究会の件(4月12日(日)自治医大)

栃眼医総会に続き、城山、千葉社保審査委員、阿久津、鈴木国保審査委員、吉沢、井岡、健保担当理事が出席し、会員からの質問に回答した。

2. 「平成21年度全国審査委員連絡協議会各支部提出議題の送付ならびに支部実情事前調査依頼について」日眼医より送付(5月14日(木))

阿久津審査委員が回答。

3. 「薬価基準の追補収載について」日眼医より送付(5月15日(金))

平成20年5月15日告示

イソプロピルウノプロストン点眼液0.12%「サワイ」

緑内障・高眼圧症治療剤 沢井製薬

イソプロピルウノプロストン点眼液0.12%「TS」

緑内障・高眼圧症治療剤 テイカ製薬

協議：1. 日眼医全国審査委員連絡協議会の件(5月24日(日)東京グランドホテル)

阿久津審査委員が出席予定。提出議題は抗VEGF抗体の手技料についての質問を予定。

2. 関プロ健康保険委員会の提出議題の件(6月13日(土)新潟市 万代シルバーホテル)

城山審査委員が出席予定。提出議題は「屈折異常の診断後3ヶ月以内であっても全く別の疾患で受診した場合、初診料の算定が可能かどうか」を予定。

3. 平成21年度第1回栃木県社保国保審査委員連絡協議会の日程について

井岡理事が担当。関プロ健康保険委員会後に、各審査委員と健保担当理事が出席し6月中に開催予定。

4. 日眼医より送付のコンタクトレンズ検査料の割合調査協力の是非について（4月15日(水)）

平成21年度定例代議員会における意見として、各支部で昨年11月に外来患者に占めるCL患者の割合調査を行なったが、同様な調査を本年度も1年を通じて行なったらどうか、という意見があり、その実施に対する各支部の協力の是非をききたい、との事。協議の結果本県は「協力する」と回答。

[広報]

報告：1. 「日本の眼科」『新東西南北』の執筆について日眼医より送付（5月14日(木)）
内容は栃木県にまつわるエッセイ。今回は大野理事が執筆予定。

協議：1. 栃眼医会報第42号の目次(案)について
大野理事から目次案の回覧があり、検討を行なった。

[学校保健]

報告：1. 朝日新聞社取材の件（4月8日(水)朝刊に掲載）
学校での近視についての取材があり、苗加理事が回答し記事が掲載された。

2. 栃木県学校保健部理事会(4月23日(木)県医師会館)
- 苗加理事が出席。専門医派遣事業として保護者及び教職員を対象にした眼科講習会の依頼があり、苗加理事が担当予定。

協議：1. コンタクトレンズの実態調査の実施について日眼医より送付（5月11日(月)）
平成21年度に学校保健部の事業として実施予定、本県でも小中高の各一校を対象に調査を実施する予定。

2. 第33回全国眼科学校医連絡協議会(7月26日(日)東京グランドホテル)出席者と提出議題について
苗加理事が出席予定。提出議題は未定。

[公衆衛生]

報告：1. 「目の健康講座」開催予定を日眼医に報告、HPに掲載
福島理事が担当し報告した。

2. 「目の愛護デー」ポスター120枚日眼医に請求
福島理事が担当し請求した。

協議：1. 「目の愛護デー」関連行事の内容・無料相談担当医師について
10月4日(日)13:00～17:00 宇都宮市保健センター(ララスクエアビル9階)
眼科講演会 高橋佳二講師(獨協医大) 13:30～14:30
眼科無料相談会 14:30～16:30
(自治医大、獨協医大から各1名と県内A会員3名が担当予定)
次回理事会までにポスター、チラシ等を作成し、8月1日(土)午後2時から現場

で事前打合せ会を予定。

また、下野新聞への記事掲載は大久保理事が担当する。

2. 眼科一次救急診療当番について

担当医のリストを確認し、平成21年度の当番表の作成法や緊急時の対策等について出席者全員で検討し、また栃眼総会で提出された会員からの質問状についても検討を行い、後日回答文を送る事とした。当番表等については6月1日(月)に救急診療検討委員会を開き最終的に決定する予定。

[勤務医]

報告：1. 第14回栃木県眼科手術談話会の件(5月22日(金)宇都宮医師会館)開催報告
上田理事が担当。5月22日(金)宇都宮医師会館 19:00～21:00 4つの演題発表を予定。

協議：1. 関プロ勤務委員会出席者と提出議題の件(6月13日(土)新潟市 万代シルバーホテル)
上田理事が出席予定。提出議題はなし。

[その他]

協議：1. 特定健診における眼底検査について
井岡理事からの質問。本年度より詳細健診を行なう必要な条件を満たした者について、眼底検査を行なう事になっているが、足利市医師会ではこれを地区の眼科医院で行なってほしい、との要望がある。現状では眼底検査のみを行なっても検査料が低すぎるだけでなく、依頼された他医療機関から料金が払われる形になるのはよくないと思われる。宇都宮市においては、医療保健事業団の検診センターで眼底撮影を行なう事になっており、他地域でも保健センター関連の眼底カメラ等を利用して検査を行い、読影については眼科医が協力する形で検討してもらうのが望ましいと思われる。

次回理事会は7月15日(水)に開催する。

以上

(吉沢 徹 記)